

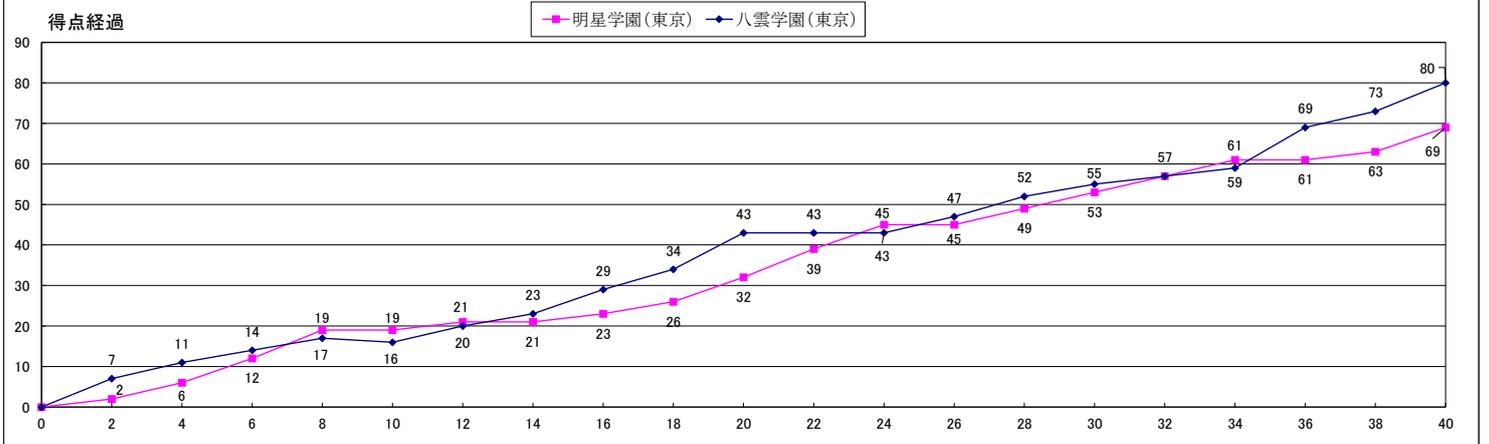
試合No.	M4	大会名	平成30年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第72回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会								
		期 日	平成30年 6月 10日(日)		会 場	カルッツかわさき					
女子決勝	主 審	北島 寛臣			副 審	古畑 香子・竹澤 友美					
	チーム名				1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
	八雲学園(東京)				16	27	12	25			80
	明星学園(東京)				19	13	21	16			69

### 八雲学園(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
奥山 理々嘉(CAP)	* 4	29	0	4	0%	11	23	48%	7	8	88%	5	7	4	2	1	2	4
小村 日夏理	* 5	13	0	5	0%	6	9	67%	1	2	50%	3	5	2	0	1	1	3
粟谷 真帆	6																	
吉田 真子	* 7	24	3	6	50%	6	12	50%	3	3	100%	1	3	5	2	0	1	2
太田 咲里	* 8	12	0	3	0%	6	8	75%	0	0		2	3	0	2	0	3	2
奥脇 彩柚子	* 9	2	0	0		1	3	33%	0	0		0	1	1	4	0	1	1
奥野 聖	10																	
宮下 愛弥	11																	
吉塚 ゆい	12																	
岡田 空	13																	
池本 里夏	14																	
埜 京華	15																	
原田 響	16																	
榎原 沙織	17																	
清水 乃梨花	18																	
コーチ 高木 優子																		
合計		80	3	18	17%	30	55	55%	11	13	85%	11	19	12	10	2	8	12

### 明星学園(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
白井 瑠梨	00																	
八村 安美菜	8	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	0	1	0	0	1
西本 有沙	10																	
瀬沼 アイーシャ 玲未	14																	
オトボ エンデュランス	* 17	10	0	0		4	10	40%	2	2	100%	3	8	1	1	0	1	5
福山 瑠璃	24	0	0	0		0	0		0	0		0	2	0	0	0	0	2
児玉 結唯(CAP)	* 25	17	1	3	33%	7	12	58%	0	0		0	0	4	2	0	3	2
牧野南唯菜	37																	
オニアソフ デボラ	47																	
岩谷 海音	* 51	24	1	1	100%	8	15	53%	5	6	83%	4	2	3	3	0	0	1
田中ナターシャ絵里	* 70	11	0	0		2	9	22%	7	8	88%	1	0	3	2	0	2	4
梶井里緒菜	77	0	0	0		0	3	0%	0	0		0	2	1	1	0	1	3
馬場もえ子	88	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	1	0	0	0	2	0
大塚 羽未	* 96	7	1	2	50%	2	5	40%	0	0		0	0	0	0	0	1	1
清水 愛菜	99	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	1	0	0	1
コーチ 椎名 真一																		
合計		69	3	8	38%	23	56	41%	14	16	88%	8	15	12	11	0	10	20



**戦評**

1P 両チームマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり明星学園は立て続けにシュートを成功させ7点先取をする。先手を許した八雲学園も#4、#5、#8を中心とした攻撃を成功させて反撃をする。中盤で明星学園#17がファウルトラブルで交代してからはお互いに決め手を欠き、明星学園19-16八雲学園で1Pが終了した。

2P 八雲学園は#4を中心に攻撃を組み立て、開始3分で同点に追いつく。一方サイズのあるインサイドが不在となっている明星学園はなかなか攻撃のリズムを掴むことができない。その間に八雲学園は#4のインサイド、#5のジャンパー、#7の3PTSなどで得点を積み重ねた。終盤に明星も#25、#96の得点などで食らいつくが、八雲学園が43-32とリードを広げて前半終了。

3P 立ち上がり明星学園はコートに戻ってきた#17を中心に攻撃を組み立て、#70、#51などが連続して得点し、一気に追いつく。一方の八雲学園はなかなか攻撃のリズムが掴めず思うように得点することができない中、#4、#7などの得点で少しずつリズムを作り始める。終盤は一進一退の攻防が続き、八雲学園が55-53となんとかリードを保ち3P終了。

4P 両チームともに起点となるインサイドの得点でスタートする。中盤になると3Pからゾーンディフェンスに切り替えた明星学園を八雲学園が#9を中心に少しずつ攻略し始める。さらに要所で#8のリバウンドショットや#7のバスケットカウントが決まり、点差を広げる。明星学園も#17のインサイドでのパワープレーなどで反撃をするが、最後まで流れ手放さなかった八雲学園が粘る明星学園を振り切り、80-69で優勝を勝ち取った。